

若年者ものづくり競技大会の県代表 入賞者3人、副知事へ報告



猿田副知事に入賞報告をした(左から)沓澤さん、川井さん、佐々木さん

電子回路組み立て部門で佐々木健介さん(19)が敢闘賞を受賞した。

川井さんは7月中旬の記録的大雨で自宅が床上浸水し、車が水没。新型コロナにも感染し、大会直前はほとんど学校に通えなかった。報告会で、川井さんは「災害やウイルスがなかったらという悔しさもある。ただ、練習が足りない期間もイメージトレーニングを続けたり、先生やクラスメートに支えてもらったりしたこと、今までで一番上手な作品ができた」と話した。

猿田副知事は「素晴らしい成績はたゆまぬ努力の成果。皆さんに本県で就職してもらえたら、ものづくり業の発展に心強い。悔しさを次のステップにつなげてほしい」と述べた。

(島田実情)

「第18回若年者ものづくり2日」に静岡市で開かれ、全国競技大会」に県代表として出場し、入賞した選手3人が23日、県庁を訪れ、猿田和三副知事に報告を行った。

大会は、ものづくり分野への就業を促進しようと、厚生労働省と中央職業能力開発協会が毎年開催。今年は8月1、2年IIがそれぞれ銅賞を受賞。